

### 事例3 令和元年東日本台風により発生した山地災害への緊急 応急対策等の実施

(東北森林管理局)



- 宮城県 伊具（いぐ）郡 丸森町（まるもりまち）、  
登米市 大峰山（おおみねやま）国有林
- 左：ヘリコプター調査で確認された山腹崩壊や土石流跡（丸森町）  
右：崩壊土砂の流出防止対策として実施した大型土のう積工の様子  
（登米市）

東北森林管理局では、広範囲で記録的な豪雨となった令和元年東日本台風により山地災害が発生したことを踏まえ、国有林野及び民有林野の被害状況を確認するため、地上からの調査に加え、宮城県及び岩手県と合同でヘリコプターによる調査を実施しました。その結果、宮城県丸森町等において、山腹崩壊や土石流が複数発生したことを確認しました。

また、山地災害が発生した国有林野のうち、宮城北部森林管理署等の管内において、二次災害の発生のおそれがある箇所が確認されたことから、不安定な土砂の除去や大型土のうによる崩壊土砂の流出防止などの緊急応急対策工事を行いました。その結果、その後の降雨などによる荒廃地の拡大や土砂流出による下流の人家や県道への被害を防ぐことができました。

引き続き、緊急性が高い箇所において、本格的な災害復旧に取り組んでいます。